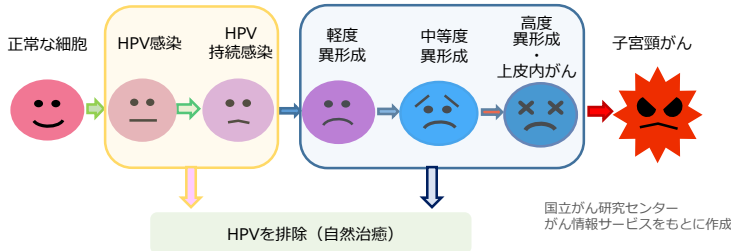


受けていますか？子宮頸がん検診

●子宮頸がんはどんな病気なの？

子宮の入口（頸部）にできるがんで、HPV（ヒトパピローマウイルス）への感染がきっかけとなり、一度でも性交渉の経験があれば誰もが感染する可能性があります。

図 HPV感染から子宮頸がんへの進行



自覚症状はないのですか？



初期は症状がほとんどありません。不正出血など症状がみられた時には、がんが進行している可能性があります。検診では、子宮頸がんに行進する前の異形成の段階で発見できます。



ほとんどの場合は自然消滅しますが、ごく一部の人は感染が持続し、がんを発症します。進行すると子宮摘出手術が必要になることもあります。早期治療により90%以上が治癒※します。

※ ここでいう「治癒」とは、診断時からの5年生存率でI期（早期がん）で発見された場合の値です。
参考：国立がん研究センター がん情報サービス

なるほど。早期発見するためには検診を受けることが大切なんですね。



●どんな検査をするの？

医師による診察と細胞診を行います。検査時間は5～10分程度。痛みはそれほどありません。ブラシ等で子宮の入り口を軽くこすり細胞を採取。採取した細胞は、専門の先生が顕微鏡で観察し、異常な細胞がないかを確認します。



前橋市では、検診の対象の方にがん検診の受診シールを送付しています。ぜひご活用ください。



令和8年度は水色の封筒が目印！

熱中症に引き続き注意！！

これから本格的に暑くなる時期です。例年8月には酷暑日といわれる40℃を超える日があります。熱中症予防に取り組み、暑い時期を乗り切りましょう！

熱中症予防のポイント

★こまめな水分補給

- ・1日1.2Lを目安に水やお茶を飲もう
- ・汗をかいた時は塩分もとしましょう



★暑さを避けよう

- ・エアコンや扇風機を使用する
- ・屋外では日傘や帽子・保冷グッズを活用する
- ・通気性のよい衣服を選ぶ



★規則正しい生活

- ・1日3食の食事をする
- ・十分な睡眠をとる
- ・適度に運動する



「プレクーリング」

運動前などに、体温を下げておく工夫も熱中症予防に効果的です。

- ミストなどで体の表面を冷却する
- 冷水やアイススラシーを飲んで体内から冷却する など

救急時の応急処置の流れも掲載しています

詳しくは
前橋市HPへ

